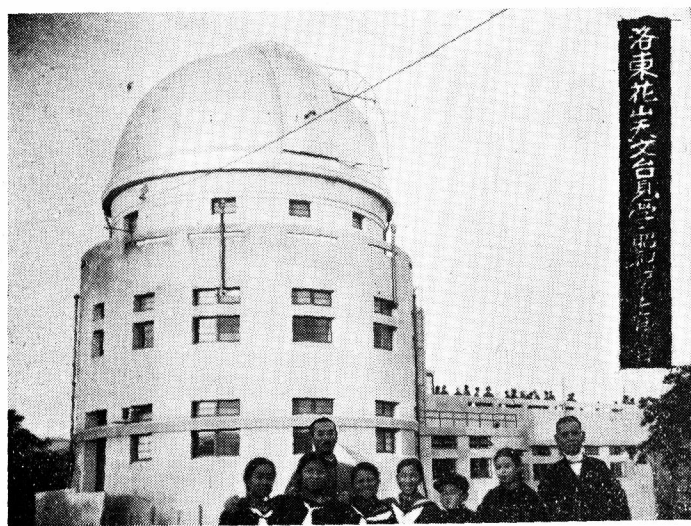


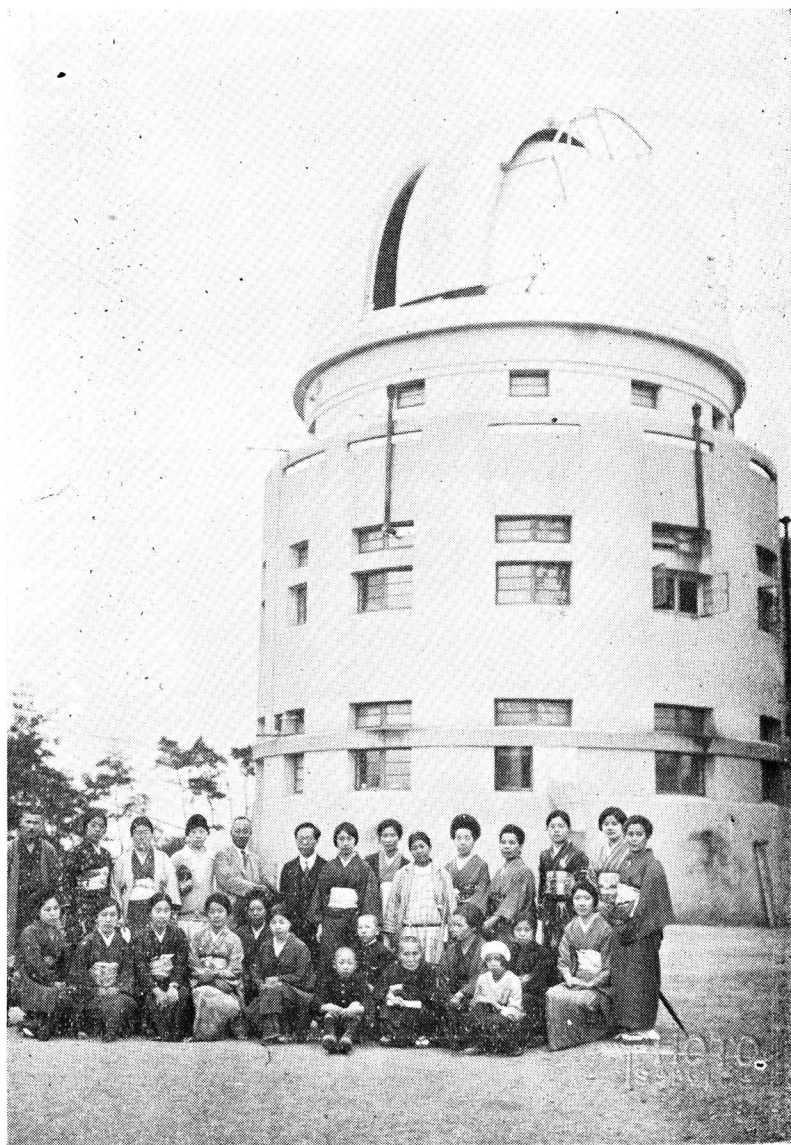
Title	花山の賑はひ
Author(s)	
Citation	星 (1930), 4-5: 15-17
Issue Date	1930-05-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/169007">http://hdl.handle.net/2433/169007</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

## 花山の賑はひ

花山天文臺は今や完全に名所となつて了つた。日曜や休日は言ふも更なり、平常の日でも、個人や團體が續々つめ寄せて來るので、臺員たちは少々閉口の體である。

此の寫眞は昨秋秋晴れの日、京都市内の明倫校の一團がやつて來た時のものである。





大 阪 よ り の 一 団

左の寫眞は今春四月十日に大阪から參觀に來られた一團の人々である。

下の寫眞は或る夜の來觀者である。

